

2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月8日

上場会社名 マークラインズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3901 URL https://www.marklines.com
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 釜澤 英紀 (TEL) 03-4241-3901
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,589	24.6	644	22.0	646	22.9	456	22.1
2023年12月期第1四半期	1,275	6.8	527	19.1	525	18.6	374	20.9

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 522百万円(32.8%) 2023年12月期第1四半期 393百万円(23.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年12月期第1四半期	34	58	34	55
2023年12月期第1四半期	28	32	28	29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	7,627	5,550	72.8
2023年12月期	7,484	5,504	73.5

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 5,550百万円 2023年12月期 5,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年12月期	—	0.00	—	36.00	36.00	—
2024年12月期	—	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	42.00	42.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	2,750	14.7	1,110	14.1	1,110	14.1	770	14.6	58	27
通期	5,700	17.6	2,300	15.5	2,300	15.7	1,600	15.7	121	07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年12月期1Q	13,215,200株	2023年12月期	13,215,200株
2024年12月期1Q	442株	2023年12月期	442株
2024年12月期1Q	13,214,758株	2023年12月期1Q	13,214,758株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P4「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは当第1四半期連結累計期間(2024年1月1日から2024年3月31日まで)において成長戦略に挙げたテーマに取り組んでまいりました。

情報プラットフォーム事業については、コロナ禍収束に伴い、潜在顧客のおよそ9割が所在する海外に再び目を向けビジネスのグローバル展開を再加速する取り組みに着手しました。営業部をグローバル営業1部、グローバル営業2部の2部体制に移行し、それぞれが北米、欧州及びアジアの各地域を軸に営業活動を展開することで、各地域における市場の変化などに柔軟に対応できるようにしました。また、日本から在外子会社に若手社員を出向者として派遣し本社で蓄積されたノウハウを移植する活動に取り組み始めるとともに、海外出張を再開し人材交流の活発化を図りました。コンテンツ面においては、引き続き、SDV(Software Defined Vehicle)関連のコンテンツ増強を図るためETAS, Elektorbitなどの企業におけるソフトウェアソリューションに関するレポートの掲載を進めるとともに、電動化に関するコンテンツとして、バッテリー生産工場やR&D拠点のデータを拡充しました。また、BYD, Xiaomi, Huaweiなどの発表会を市場技術レポートとして掲載し、海外市場開拓の状況など中国メーカーの動向に関するコンテンツを増強しました。さらに、テレビ局・新聞社などのメディアが情報プラットフォームの台数情報を活用する機会も増加し、その都度、社名がクレジットされることで当社の認知度向上が進みました。以上の結果、契約社数は前連結会計年度末から134社増加(前年同期139社)の5,308社となりました。

情報プラットフォーム事業以外の事業に関して、コンサルティング事業については、受注件数及び受注単価ともに上昇したことを受け売上高、セグメント利益ともに前年同期を大きく上回りました。車両分解・計測事業については、自動車メーカーから初受注した計測案件の検取にともない当連結会計期間において売上を新たに計上しております。分解調査データ販売事業については、販売本数が前年同期の40本から18本に減少した影響を受け売上高、セグメント利益ともに前年同期比で減少となりました。車両・部品調達代行事業については、日系及び中国の自動車メーカーに係る車両本体、部品などの調達案件が全体の過半を占めるなど好調に推移しました。プロモーション広告事業は、引き続きソリューションベンダーからのリピート受注が安定的に推移したことに加え、素材メーカーによる利用が進み、売上高、セグメント利益ともに前年同期比で増加しました。市場予測情報販売事業は、契約更新率が前年同期比で上昇したことなどにより売上高、セグメント利益ともに増加しました。人材紹介事業については、成約件数が前年同期の26件から12件に減少した影響を受け売上高、セグメント利益ともに前年同期比で大きく減少しました。自動車ファンド事業については、関連会社である「自動車産業支援ファンド2021投資事業有限責任組合」から毎期待定額で受領する管理報酬を売上として計上しております。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は売上高1,589百万円(前年同期比24.6%増加)、営業利益は、644百万円(前年同期比22.0%増加)、経常利益は、持分法による投資損失5百万円を計上したこと等から646百万円(前年同期比22.9%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、456百万円(前年同期比22.1%増加)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、新たに車両分解・計測事業を報告セグメントとして追加しております。当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいています。

各セグメント毎の経営成績は以下の通りであります。

○ 事業セグメント別損益 (連結ベース)

		前第1四半期 連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日) (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日) (百万円)	増減率 (%)
情報プラットフォーム事業	売上高	730	861	+18.0
	セグメント利益	452	518	+14.5
コンサルティング事業	売上高	161	271	+67.9
	セグメント利益	52	103	+98.1
車両分解・計測事業	売上高	—	93	—
	セグメント利益	—	36	—
分解調査データ販売事業	売上高	131	82	△37.7
	セグメント利益	60	33	△44.7
車両・部品調達代行事業	売上高	127	154	+20.9
	セグメント利益	26	28	+9.8
プロモーション広告事業	売上高	19	29	+47.4
	セグメント利益	17	26	+53.8
市場予測情報販売事業	売上高	48	63	+30.0
	セグメント利益	15	19	+27.4
人材紹介事業	売上高	45	23	△48.0
	セグメント利益	18	5	△73.6
自動車ファンド事業	売上高	9	9	+0.6
	セグメント利益	1	1	+0.9
売上高 計		1,275	1,589	+24.6
セグメント利益 計 ①		644	773	+19.9
部門共通費 ②		△116	△128	—
営業利益 計 ①-②		527	644	+22.0

○ 情報プラットフォーム事業：売上高861百万円(前年同期比18.0%増加)、セグメント利益(営業利益)518百万円(前年、同期比14.5%増加)

当第1四半期連結累計期間における情報プラットフォーム契約社数は前連結会計年度末から134社増加(前年同期139社増加)の5,308社となりました。足元では、新規の7割超が海外顧客との契約となっており、前年の下期から本格的に稼働を開始したメキシコ子会社の契約獲得が社数増に寄与するなど、北米地域を中心に海外売上高の伸びが顕著となりました。

○ 情報プラットフォーム事業地域別売上高

地域	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日) (百万円)	増減率(%)
日本	312	334	+7.1
中国	125	153	+22.8
アジア	122	152	+25.0
北米	84	115	+36.1
欧州	81	98	+21.1
その他	4	7	+54.5
合計	730	861	+18.0

- コンサルティング事業：売上高271百万円(前年同期比67.9%増加)、セグメント利益(営業利益)103百万円(前年同期比98.1%増加)
 当第1四半期連結累計期間のコンサルティング事業は、ECUベンチークやコスト比較分析などが好調に推移しました。また、自動車メーカーから定期的に引き合いが届くようになり、これまでよりも付加価値の高い案件の受注が増加しました。その結果、平均受注単価が上昇するとともに受注件数も増加し、売上高、セグメント利益ともに大きく上昇しました。
- 車両分解・計測事業：売上高93百万円(前年同期比-)、セグメント利益(営業利益)36百万円(前年同期比-)
 車両分解・計測事業は、下期に予定している新しいベンチマークセンターの稼働に合わせて本格的なスタートを予定しておりますが、これに先立ち自動車メーカーから受注した計測案件の検収を受け売上を計上しました。
- 分解調査データ販売事業：売上高82百万円(前年同期比37.7%減少)、セグメント利益(営業利益)33百万円(前年同期比44.7%減少)
 当第1四半期連結累計期間における分解調査データ販売事業は、Hyundai IONIQ5のレポート販売などが業績に寄与したものの、新たに販売開始を予定していた商品の投入が先送りになるなど、顧客の需要を喚起できず販売本数が前年同期に届きませんでした。
- 車両・部品調達代行事業：売上高154百万円(前年同期比20.9%増加)、セグメント利益(営業利益)28百万円(前年同期比9.8%増加)
 当第1四半期連結累計期間における車両・部品調達代行事業は、電動化に係る車両本体、部品及びインフラ関連設備(急速充電器)などの調達案件が好調だったことから、前第1四半期から回復基調を示し、売上高、セグメント利益ともに前年同期比で増加しました。
- プロモーション広告事業(LINES)：売上高29百万円(前年同期比47.4%増加)、セグメント利益(営業利益)26百万円(前年同期比53.8%増加)
 当第1四半期連結累計期間のプロモーション広告事業は、リピート顧客からの受注が安定的に推移したこと、及び資料請求をきっかけとした受注が増加したことなどにより、売上高は前年同期比47.4%増と大きく伸張しました。
- 市場予測情報販売事業：売上高63百万円(前年同期比30.0%増加)、セグメント利益(営業利益)19百万円(前年同期比27.4%増加)
 当第1四半期連結累計期間の市場予測情報販売事業は、契約の更新率が78%と前年同期との比較でおよそ3ポイント上昇しました。さらに、アップセルの効果も寄与し売上高、セグメント利益ともに前年同期比で増加しました。
- 人材紹介事業：売上高23百万円(前年同期比48.0%減少)、セグメント利益(営業利益)5百万円(前年同期比73.6%減少)
 当第1四半期連結累計期間の人材紹介事業は、成約件数が12件(前年同期26件)となりました。事業部門内の人員体制変更の影響を受け成約件数が減少し、売上高、セグメント利益ともに前年同期を大きく下回る結果となりました。
- 自動車ファンド事業：売上高9百万円(前年同期比0.6%増加)、セグメント利益(営業利益)1百万円(前年同期比0.9%増加)
 当第1四半期連結累計期間の自動車ファンド事業は、体制に大きな変更がなかったため、売上高及びセグメント利益ともにほぼ横ばいで推移しております。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月9日に公表しました2024年12月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,521,123	5,004,059
売掛金	234,811	600,700
商品	26,650	14,387
仕掛品	12,446	-
前渡金	23,258	48,447
前払費用	33,177	32,815
その他	23,513	27,227
貸倒引当金	△2,403	△1,389
流動資産合計	5,872,578	5,726,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,635	41,168
減価償却累計額	△10,937	△11,695
建物及び構築物（純額）	27,698	29,472
土地	367,207	369,801
建設仮勘定	235,994	468,908
その他	69,218	72,483
減価償却累計額	△49,219	△50,480
その他（純額）	19,998	22,002
有形固定資産合計	650,899	890,184
無形固定資産		
ソフトウェア	45,022	47,419
その他	10,183	18,469
無形固定資産合計	55,206	65,888
投資その他の資産		
投資有価証券	683,995	731,884
破産更生債権等	539	-
長期前払費用	262	227
敷金及び保証金	128,611	128,850
長期預金	59,760	63,600
繰延税金資産	32,975	20,484
貸倒引当金	△539	-
投資その他の資産合計	905,605	945,045
固定資産合計	1,611,710	1,901,119
資産合計	7,484,288	7,627,369

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	90,714	177,842
未払金	16,792	35,856
未払費用	51,982	41,761
未払法人税等	327,994	187,017
未払消費税等	56,150	71,969
前受金	1,372,452	1,456,871
役員賞与引当金	13,000	4,000
預り金	26,758	25,735
賞与引当金	14,633	63,942
その他	-	1,696
流動負債合計	1,970,478	2,066,692
固定負債		
退職給付に係る負債	9,725	10,186
固定負債合計	9,725	10,186
負債合計	1,980,203	2,076,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	371,351	371,351
資本剰余金	289,158	289,158
利益剰余金	4,751,713	4,732,931
自己株式	△784	△784
株主資本合計	5,411,438	5,392,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,931	71,227
為替換算調整勘定	60,714	86,606
その他の包括利益累計額合計	92,646	157,833
純資産合計	5,504,084	5,550,489
負債純資産合計	7,484,288	7,627,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,275,404	1,589,490
売上原価	468,073	612,387
売上総利益	807,330	977,103
販売費及び一般管理費		
販売促進費	6,646	7,022
広告宣伝費	3,411	4,212
役員報酬	13,435	16,610
給料及び手当	115,781	135,072
賞与引当金繰入額	25,014	29,517
退職給付費用	2,861	3,439
法定福利費	23,027	26,979
減価償却費	2,295	2,081
貸倒引当金繰入額	1,446	△1,553
賃借料	17,495	21,098
その他	68,037	88,552
販売費及び一般管理費合計	279,452	333,033
営業利益	527,878	644,069
営業外収益		
受取利息	1,531	1,779
受取配当金	2,426	3,574
為替差益	-	1,284
その他	1,012	1,227
営業外収益合計	4,970	7,865
営業外費用		
持分法による投資損失	5,722	5,260
為替差損	1,183	-
その他	0	80
営業外費用合計	6,906	5,340
経常利益	525,941	646,594
税金等調整前四半期純利益	525,941	646,594
法人税、住民税及び事業税	153,329	191,007
法人税等調整額	△1,625	△1,361
法人税等合計	151,703	189,645
四半期純利益	374,238	456,949
親会社株主に帰属する四半期純利益	374,238	456,949

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	374,238	456,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,937	31,388
為替換算調整勘定	5,967	25,891
持分法適用会社に対する持分相当額	-	7,906
その他の包括利益合計	18,904	65,187
四半期包括利益	393,143	522,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	393,143	522,136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	情報プラットフォーム事業	コンサルティング事業	車両分解・計測事業	分解調査データ販売事業	車両・部品調達代行事業	プロモーション広告事業
売上高						
外部顧客への売上高	730,340	161,564	—	131,757	127,561	19,892
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	730,340	161,564	—	131,757	127,561	19,892
セグメント利益	452,902	52,285	—	60,587	26,183	17,030
	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	市場予測情報販売事業	人材紹介事業	自動車ファンド事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	48,890	45,704	9,692	1,275,404	—	1,275,404
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	48,890	45,704	9,692	1,275,404	—	1,275,404
セグメント利益	15,509	18,939	1,303	644,742	△116,864	527,878

(注) 1. セグメント利益の調整額△116,864千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	情報プラットフォーム事業	コンサルティング事業	車両分解・計測事業	分解調査データ販売事業	車両・部品調達代行事業	プロモーション広告事業
売上高						
外部顧客への売上高	861,923	271,240	93,600	82,107	154,232	29,313
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	861,923	271,240	93,600	82,107	154,232	29,313
セグメント利益	518,581	103,556	36,341	33,523	28,748	26,198
	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	市場予測情報販売事業	人材紹介事業	自動車ファンド事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,578	23,748	9,746	1,589,490	—	1,589,490
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	63,578	23,748	9,746	1,589,490	—	1,589,490
セグメント利益	19,760	5,005	1,315	773,032	△128,962	644,069

(注) 1. セグメント利益の調整額△128,962千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

リバースエンジニアリング分野において、これまでよりさらに幅広い領域をカバーするための新サービスを提供する事業を開始したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より「車両分解・計測事業」を報告セグメントとして追加しております。

なお、前四半期連結期間のセグメント情報については、変更後の区分に基づき作成しております。